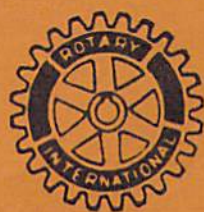


1971～1972

小田ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1971・10・20



四 つ の テ ス ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロ - タ リ - の 綱 領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡げていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより権威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1971～72年度

国際ロータリー会長メッセージ

Good Will Begins With You

善意は 先ず あなたから

「プリズムを通過する光は
スペクトルとなって分散する
同じように善意の光も奉仕の理想にもえる
ロータリアンのプリズムで分けられ
限りなく多彩な奉仕活動となって分散する
恰も虹のように」

国際ロータリー会長

アンスト G. プライトホルツ

目 次

クラブ協議会プログラム	1 頁
役員並びに委員名簿	2
会長報告	3
幹事報告	3
会計報告	5
クラブ奉仕報告	6
出席委員会報告	7
職業分類委員会報告	9
会員選考委員会報告	9
会員増強委員会報告	10
プログラム委員会報告	11
広報委員会報告	12
親睦活動委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	14
会報・雑誌委員会報告	14
S・A・A報告	15
職業奉仕委員会報告	16
社会奉仕委員会報告	16
青少年奉仕委員会報告	17
国際奉仕委員会報告	18
ロータリー財団委員会報告	19

附 表

昭和46年度予算書

会員名簿

充填・未充填職業分類一覧表(別冊)

クラブ協議会プログラム

1971. 10. 20

於 鶴 鳴 館

17:00~17:01	開 会 の 辞	副 会 長	牧 田 健 二
17:01~17:04	国歌君が代・ロータリーソング(奉仕の理想)	齊 唱	
17:04~17:10	歓迎の辞及びガバナー紹介	会 長	岩 元 正 二
17:10~17:15	ガバナー挨拶	ガバナー	小 田 一 昭
17:15~17:25	会 員 自 己 紹 介		
17:25~	会 長 報 告	会 長	岩 元 正 二
	幹 事 報 告	幹 事	田 平 礼 章
	会 計 報 告	会 計	川 上 鉄 太 郎
	クラブサービス報告	会 務 担 当	牧 田 健 二
	出 席 委 員 会 報 告	委 員 長	高 井 敏 治
	職 業 分 類 委 員 会 報 告	〃	小 池 鉄 太 郎
	会 員 選 考 委 員 会 報 告	〃	森 川 盛 満
	会 員 増 強 委 員 会 報 告	〃	岩 田 太 一
	プ ロ グ ラ ム 委 員 会 報 告	〃	小 山 幸 義
	広 報 委 員 会 報 告	〃	安 楽 慶 一 郎
	親 睦 活 動 委 員 会 報 告	〃	中 山 和 春
	ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 報 告	〃	福 田 敏 之 均
	会 報 ・ 雑 誌 委 員 会 報 告	〃	新 福 均
	S・A・A 報 告	S・A・A	桜 美 義 明
	職 業 奉 仕 委 員 会 報 告	委 員 長	下 野 隆 三
	社 会 奉 仕 委 員 会 報 告	〃	外 西 寿 彦
	青 少 年 奉 仕 委 員 会 報 告	〃	中 村 善 治
	国 際 奉 仕 委 員 会 報 告	〃	池 田 広
	ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会 報 告	〃	高 義 朗
	講 評	ガバナー	小 田 一 昭
19:00	閉 会 の 辞	幹 事	田 平 礼 章
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング(手に手つないで)	齊 唱	

鹿児島西ロータリークラブ役員，理事，委員会名簿

1971/7 ~ 1972/6

会 長 (理 事)	岩 元 正 二
副 会 長 (")	牧 田 健 二 (会 務 担 当)
幹 事	田 平 礼 章
副 幹 事	浜 田 馨
理 事	下 野 隆 三 (職 業 奉 仕)
"	外 西 寿 彦 (社 会 奉 仕)
"	中 村 善 治 (青 少 年 奉 仕)
"	池 田 広 (国 際 奉 仕)
"	川 上 鉄 太 郎 (会 計)
S A A	桜 美 義 明
副 S A A	渡 辺 匡

出 席	◎高井 敏治	○久保 政次	岡元健一郎	岩元 健吉	原田 隆造
職 業 分 類	◎小池鉄太郎	◎新福 栄熊	川村 洋	久保田彦穂	
会 員 選 考	◎森川 盛満	○米倉 秀雄	岡山 栄		
会 員 増 強	◎岩田 太一	◎西郷 隆永	桜美 四郎	若松 新一	
プ ロ グ ラ ム	◎小山 幸義	○塘 一郎	川路 清高	島津 忠丸	光吉 正昭
広 報	◎安楽麿一郎	◎小園 正人	土橋 英夫	有蘭 敷男	
親 睦 活 動	◎中山 和春	◎古木 圭介	若松宇治彦	山口 清次	鍋島 宏
		中村 俊雄	坂口 洋右	池口 恵観	
ロ ー タ リ ー 情 報	◎福田 敏之	○岩元 基	河井 時義	佐伯延次郎	
会 報 雑 誌	◎新福 均	○柴山 一雄	竹之内安己	山本 友博	
職 業 奉 仕	◎下野 隆三	○高田 光義	藤安 辰造	春山ジャステン	
社 会 奉 仕	◎外西 寿彦	○徳田 基	林 幸光	徳沢 紀生	風間 悌次
		木治屋克己			
青 少 年 奉 仕	◎中村 善治	◎三角桂次郎	土谷 久雄	川田 恵一	原 三郎
イ ン タ ー ア ク ト					
ロ ー タ ー ア ク ト					
国 際 奉 仕	◎池田 広	◎高 義朗	鮫島志芽太	瀬上 一郎	平田 武雄
		△			池田 稔
ロ ー タ リ ー 賞 推 薦	◎牧田 健二	○安楽麿一郎	新福 均	外西 寿彦	小山 幸義

◎ 委員長 ○ 副委員長 △ ロータリー財団委員長

会 長 報 告

会 長 岩 元 正 二

発足以来9年目を迎え当クラブの基礎も固まりその奉仕活動も軌道に乗って参りましたが之偏えに会員すべての並々ならぬ努力の結集であると思います。

今回国際ロータリー第373区ガバナー小田一昭先生の公式訪問に当りロータリー活動の実践について本日クラブ協議会を開催する機会を得ましたことは会員皆様と共に最も喜びとする処であります。発足当時25名であった当クラブも現在会員数69名となり其の伝統的雰囲気維持しながら順調な発展を続けております。

扨て“善意はまずあなたから”これがRI会長アンストGブライトホルツによる本年度の奉仕活動のためのテーマとなっております。従って奉仕活動により善意を行動に移すことが本年度の我々の課題であります。

チャリティ音楽会の実現を始め各部門に於ける奉仕活動が極めて積極的に進んでおりますが、今後更に会員間の深い友好関係を保ちながら本年度の理想完遂のため最善の努力を重ねたい所存でございます。

幹 事 報 告

幹 事 田 平 礼 章

地区協議会出席義務者の全員出席、ワンダーフォーゲル、インターアクト年次大会にはじまる青少年奉仕の活潑な活躍、次いで社会奉仕を中心とするチャリティ音楽会、副会長を中心とするクラブ奉仕関係の活動等々、委員長及び委員の自

主的積極的御活躍により、次々と企画、実行されていく事は、幹事として誠に有難く思っております。本年をたゞ十週年記念準備のための一年としてだけではなくやはりクラブにとって有意義な一年にしたいと念願致しております。

ク ラ ブ 概 況

1. 創 立 年 月 日	昭和38年3月23日
2. 承 認 年 月 日	昭和38年6月27日
3. チャーターメンバー	25名(内現会員 14名)
4. 本年度当初会員数	65名
	退会者 2名
	入会者 6名
5. 現 在 会 員 数	正会員 60名
	シニア・アクティブ会員 8名
	バスト・サービス会員 1名 計 69名
6. 平 均 年 齢	53.19才 最高 75才 最低 26才
	20才台 2名 30才台 10名
	40才台 12名 50才台 23名
	60才台 19名 70才台 3名
7. 出 席 率	98.20%(45.10~46.9)
8. 予 算	末尾の通り
9. 入 会 金	15,000円
10. 年 会 費	56,000円
11. ビジター会費	600円
12. 会 報	週報を毎週発行
13. ロータリアン誌	5名購読
14. クラブアッセンブリー	2回(あと3回以上開催予定)
15. クラブフォーラム	6回開催予定

- | | | |
|------|--------------|--|
| 1 6. | 炉 辺 合 合 | 1 回 (あと数回開催予定) |
| 1 7. | 理 事 会 | 定時理事会 毎月第 2 週例会日に開催
臨時理事会 必要に応じ適時開催 |
| 1 8. | 県下 R・C 会長幹事会 | 年 2 回輪番で開催
お互いに意見の交換を行っている。 |

会 計 報 告

会 計 川 上 鉄太郎

基 本 方 針

クラブの財産及び資金を確実に保管し、その収支状況を常時明らかにしておくとともに、各委員会活動が円滑に執行されるような財務状態を保ちたい。

計 画

1. 必要ある毎に理事会に財務事情を報告し、クラブ活動各般の推進に支障なきを期したい。
2. 資産台帳の整備を行いたい。

業 績

支出は予算内で実行することが当然であるが、不測の予算外支出等も会費収入の範囲内でなるべく賄いたいという考え方で進めてきた。

ク ラ ブ 奉 仕

副会長 牧 田 健 二

基 本 方 針

- (1) クラブ奉仕の各委員会の効果的な奉仕活動を調整し、監督し、また助言を行なう。
- (2) 本年度の目標は、善意の年であり、一人一人が身をもって善意を行動に移す方法を見つけるよう各委員会に指示し、目標の達成に努める。

計 画

- (1) クラブ奉仕各委員長会議を随時開催し、各委員会業務の相互関係について討議し、各委員会の意見を聞き、理事会に提出検討し、決定したものは直ちに行動に移したい。
- (2) 年度計画表を会長、幹事と協議の上作成し、全会員に配布し、クラブの運営を円滑に遂行したい。
- (3) プログラム委員会はクラブ年間計画表に従い、例会の年間プログラムを年間頭初に作成し、随時開催の各委員長会議にて反省批判し、魅力あるプログラムを考えていくようにされたい。
- (4) 本年度は親睦活動、出席、会員増強、プログラム、ロータリー情報を重点課題のポイントとして問題の提供に努めたい。
- (5) 年2回以上クラブ奉仕のフォーラムを行ないたい。
- (6) ファイヤーサイドミーティングの開催に努めたい。
- (7) 善意を行動に移すために、クラブ奉仕がなすべきことは
 1. 会員に適格者を得るよう努めること
 2. 会員は各自の委員会の仕事に喜んで精力を注ぎ込むこと
 3. 優秀な出席と参加によって魅力ある雰囲気の中でクラブを支持することに努めることである。

業 績

- (1) 46. 6. 13(日)第373区地区協議会(熊本市)に出席し、46. 6. 24(木)例会終了後、クラブ奉仕の各委員長を集め、1971~1972の目標「善意は先ずあなたから」の意義を説明し、クラブ奉仕の年度計画を示し、各委員会においては早急に新年度の事業計画を協議立案するよう勧奨

した。

- (2) 7月8日クラブ協議会を開催し、新らしい各委員会の活動方針を発表した。
- (3) 会長、幹事と協議の上年間計画表を発表し、全会員に配布、クラブ年間の動きを全会員に十分に把握していただき、各委員会の奉仕活動を相互連繫の下に円滑に遂行できるようにした。
- (4) 8月12日ファイヤーサイドミーティングを開催した。
- (5) 9月23日クラブ奉仕のフォーラムを開催し、各委員会の活動に格段の努力を要請した。
- (6) 10月7日クラブ協議会を開催し、各委員会の活動実績発表を行ない、今後の奉仕活動を更に活潑化するよう要請した。

出席委員会報告

委員長	高井敏治
委員	久保政次
	岡元健一郎
	岩元健吉
	原田隆造

基本方針

出席率100%を目標とする。

各種上級会合への出席を奨励する。

計画

- (1) 基本方針達成のため、会員全員がさそいあわせて、例会に出席するような雰囲気を作り上げたい。
- (2) 機会をみて出席の大切なことを会員にくりかえしPRしたい。

業績

欠席した会員にメーカーの都合などを聞くようにしている。

例 会 出 席 状 況

例会数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メーカー アップ	出 席 訂正率	ゲスト	ビジター
418	46.7. 1	65	57	8	87.69	7	98.46	3	20
419	7. 8	63	47	16	74.60	15	98.41	1	19
420	7.15	63	57	6	90.48	6	100	0	19
421	7.22	63	51	12	80.95	12	100	1	27
422	7.29	67	51	16	76.12	16	100	1	15
423	8. 5		休 会 (台風のため)						
424	8.12	68	41	27	60.29	25	97.06	0	0
425	8.19	69	55	14	79.71	13	98.55	1	18
426	8.26	69	48	21	69.57	16	92.75	0	14
427	9. 2	69	49	20	71.01	19	98.55	1	13
428	9. 9	69	53	16	76.81	14	97.10	0	20
429	9.16	69	55	14	79.71	13	98.55	5	21
430	9.23	69	56	13	81.16	12	98.55	0	20
431	9.30	69	55	14	79.71	11	95.65	2	31
13回計		872	675	197	1007.81	179	1273.63	15	237
平 均		67	52	15	77.53	14	97.97	1	18

職業分類委員会報告

委員長	小池鉄太郎
委員	新福栄熊
	川村洋
	久保田彦穂

基本方針

- (1) 当クラブ区域の職業分類調査を行う。
- (2) 充填及び未充填の職業分類一覧表を作る。
- (3) 未充填部分については当クラブ全会員に協力を求め、その充填を計る。

計画

- (1) 当クラブ区域内のいろいろな事業所及び専門的職業を調査すると共に、区域外の事業所についても、その住所が当クラブ区域内にある人々の職業分類についても調査する。
- (2) 充填及び未充填の職業分類一覧表はクラブ全会員に配布し、未充填部門を十分に認識してもらい。
- (3) 未充填部分については、全会員は勿論、特に会員増強委員、会員選考委員会に全面的協力を求め、各関連職業群に10%以内における充填に努めたい。
- (4) 必要に応じ委員会を開き、未充填部門一覧表を常時公開し、その充填に努めたい。

業績

新職業分類表を作成し、配布する。

会員選考委員会報告

委員長	森川盛満
委員	米倉秀雄
	岡山栄

基本方針

推薦された人々の資格や職業、又は社会的地位等を審査して、理事会へ報告し、立派な会員の拡充に努力する。

計画

1. 職業分類・会員増強等の各委員会と連絡を緊密にする。
2. 選考に当っては、出来る限り委員会を開く。
3. 審査の結果は、速やかに理事会へ報告する。

業績

前記の方針、計画により関係委員会の協力により本年度6名の入会者を迎え、クラブは益々充実した。ただ出席率が低下の傾向にあるため、今後は選考時に特にこの点について配慮し、ロータリー情報、出席委員会等と協力してクラブの成績向上を図ることとする。

会員増強委員会報告

委員長	岩田太一
委員	西郷隆永
	桜美四郎
	若松新一

基本方針

職業分類委員会との連絡を密にし、未充填職業分類を充填するために会員各位のご協力をお願いして、適当な人を理事会に推薦する。

計画

年間会員増加目標を10%とす。

業績

昭和46年7月～9月まで入会6名、退会2名で現在会員数69名になり、4名増員となりました。

プログラム委員会報告

委員長 小山 幸 義
委員 塘 一 郎
川路 清 高
島津 忠 丸
光吉 正 昭

基本方針

1. ロータリーの例会にふさわしい品位をもったプログラムを編成する。
2. 会員各位が興味をもち、且つ有益である様に講師、テーマについて検討する。特に「かごしまの再発見」という事をいろいろな角度から検討する。
3. 会員相互の認識を深める意味で出来るだけ会員のプログラムをもち込む。

計 画

- 全体的には例年通りゲスト50%会員30%、映画、その他20%の割合で年間のスケジュールを考えたい。又時節に応じたタイムリーなプログラムをその都度考えたい。
- 委員会のメンバーだけでは仲々手が廻り兼ねるので、会員の方々も情報提供にご協力していただきたい。

卓話の実績状況

ゲ ス ト 卓 話				
月日	題 目	職 業	氏 名	会 員 卓 話
7. 1	R財団奨学生 帰国挨拶		片平 研二	
8				クラブ協議会
15				総合エネルギーの現状と 将来の課題 会員 三角桂次郎
22	鹿児島県の古文書	鹿大法文学部教授	五味 克夫	
29	建物の耐風設計	鹿大工学部助教授	立川 正夫	

8. 5	休 会	(台風のため)		
12				炉辺会合
19	乳児院の現況	鹿児島市乳児院 院 長 森 重孝		
26				クラブフォーラム (青少年奉仕)
9. 2	鹿児島県の公害	鹿児島公害課長	内山 裕	
9				外国為替の話 会員 山口清次
16	独創力の開発	鹿大工学部教授	田中 為夫	
23				クラブフォーラム (クラブ奉仕)
30				観月家族会
10. 7				クラブ協議会
14	映 画			

広 報 委 員 会 報 告

委員長 安 楽 慶一郎
委員 小 蘭 正 人
土 橋 英 夫
有 蘭 敦 男

基 本 方 針

1. チャリティショーを通じ、クラブの性格等について広報する。
2. その他については前年度の方法を踏襲する。

計 画

1. チャリティショー
 - (1) プログラムにRCの紹介
 - (2) 新聞記者を招き、ショーの紹介
 - (3) ポスター

2. 広報対象項目について年度計画を立てる。
3. 前年度の方式を踏襲する。

業 績

1. 新聞記者をまねき懇談会（10月7日）
 - (1) RCの性格について紹介
 - (2) 当RCの年度計画について説明
 - (3) チャリティショーの紹介
2. 年度計画を立案した。

親睦活動委員会報告

委員長	中山	和春	
委員	古木	圭介	
	鍋島	宏	
	若松	宇治彦	
	中村	俊雄	
	山口	清次	
	池口	恵観	
	坂口	洋右	

基本方針

家族を含めた親睦
 新入会員との融和 } を重点に親睦活動を推進する。

計 画

- (1) 親睦家族会（年2回、観月、クリスマス）
- (2) 新入会員との親睦融和行事（3分間スピーチ、夕食会）
- (3) 会員の誕生祝、結婚祝
- (4) リクレーション他

業 績

- (1) 誕生祝、結婚祝（毎月第1例会日に当月分を実施）
- (2) 観月家族会実施（9月30日 於城山観光ホテル 参加96名）

ロータリー情報委員会報告

委員長 福田 敏之
委員 岩元 基
河井 時義
佐伯 延次郎

基本方針

- (1) 新入会員にロータリアンとしての特典，義務を理解させる。
- (2) 会員にロータリーの歴史，綱領および活動についての知識を与える。
- (3) 会員に国際ロータリーの管理，運営の進展に関する知識を与える。

計画

- (1) 新入会員の個別指導を行なう。
- (2) ロータリーについての勉強会を行なう。
- (3) 新入会員を各委員会の炉辺会合に指導する。
- (4) ロータリー関係の情報を週報に記載して，基本方針の徹底をはかる。
- (5) ロータリー関係の文献，資料の整備

業績

- (1) 新入会員への個別指導
- (2) ロータリー情報を出来るだけ週報に記載して，会員への周知をはかった。

会報雑誌委員会報告

委員長 新福 均
委員 柴山 一雄
竹之内 安己
山本 友博

基本方針

1. 興味をそゝり，読み易く親しみ易い週報を発行する。
2. 親睦を増進し会員増強を促進する。

計 画

1. 例会のプログラムの記事をのせる。
2. ロータリー情報を掲載
3. クラブ、会員、地区及全世界のローターに関するニュースを掲載
4. ロータリーの友、ガバナー月信、必要点の掲載
5. 欠席者の週報の郵送

業 績

計画を忠実に実行に移し、よりよき会報雑誌の業績をつくっています。
十周年の記録誌の準備にあたっています。

S A A 報 告

S A A 桜 美 義 明

副 S A A 渡 辺 匡

基 本 方 針

1. 例会の雰囲気をもっと和やかなものとし、クラブ訪問者及来賓に良い印象を与えるよう努力したい。
2. ニコニコBOXの収入増加をはかる。

計 画

1. ニコニコBOXについては親睦委員会及全会員の方より情報の提供をお願いし、ニコニコボックスを通じて相互の親睦と理解を深めるように努める。
2. 親睦委員長と毎週会談するよう努め、会合での親睦の増進に関し打合せをする。

業 績

親睦委員会と連絡を保ちながら、ニコニコBOXの増収をはかり、会員相互の理解と親睦を深めるよう努力した。

職業奉仕委員会報告

委員長 下野隆三
委員 高田光義
藤安辰造
春山ジャステン

基本方針

従来の基本方針に従い下記事項を実施して行く方針である。

計画

- 優良従業員の表彰
- 職場訪問
- 新卒高校職員の職業指導懇談会
- 奉仕事例の研究

社会奉仕委員会報告

委員長 外西寿彦
委員 徳田基
風間悌次
林幸光
木治屋克己
徳沢紀生

基本方針

関係諸団体や当クラブ各委員会と連絡を緊密にして、地域社会のニードを適確にとらえ、日のあたらぬ所にあたゝかい手をさしのべる。

計画

- (1) 交通安全、公害問題への側面的協力
- (2) 心身障害児施設への援助
- (3) 老人ホームの援助

- (4) ロータリー賞の継続
- (5) 都市緑化，美化運動の協力
- (6) 太陽の子運動への協力
- (7) 離島へき地医療への協力援助

業 績

- (1) 県公害課長を例会にまねき，公害問題一般につき知識をたかめ，本県の問題についても研究を行った。
- (2) 市立乳児院長を例会にまねき，不幸な子供等の養育施設の内容をきき，関心を深かめた。
- (3) チャリティ音楽会を開催し，その益金を市立乳児院に贈呈することにした。

青少年奉仕

インター・アクト 委員会報告

ローター・アクト

委員長	中 村 善 治
委 員	三 角 桂次郎
	原 三 郎
	土 谷 久 雄
	川 田 恵 一

基 本 方 針

ロータリーの活動を通じ，青少年との交流をはかり青少年が健全なる成長をする様之を援助する。就中，インター・アクトの育成，拡大に留意する。

計 画

1. インター・アクトクラブと緊密に連絡をとり，年度内行事を企画する。
2. ローター・アクトの例会に極力出席して，その希望に沿う企画を援助したい。
3. 青少年の不良化防止について何か考えてみたい。

業 績

1. ワンダーフォーゲル運動を当番クラブとして推進した。
2. インター・アクト地区大会を積極的に協力，成功させた。
3. 夏休みを利用して，インター・アクトの萩旅行を実施し，精神的面の育成を計った。

4. インターアクトと留学生の交歓会を実施，国際理解の実をあげた。
5. ガールスカウトの装備強化に金一封を寄附。

国際奉仕委員会報告

委員長	池	田	広
委員	高		義 朗
	平	田	武 雄
	鮫	島	志芽太
	池	田	稔
	瀬	上	一 郎

基 本 方 針

各人の善意にもとづき，個人及びクラブで先ず手近かな所より国際親善理解を深めるよう努力する。

計 画

交換学生の受け入れ

市内在住東南アジア留学生の例会への招待

North De Kalb County R. C との盟約検討

業 績

- (1) 交換学生 Gerald Bush 君の受入れ
- (2) ホンコン視察団来鹿時 (4 6.9.5)
 - 九龍ロータリークラブ 会長 C. F. ニールマン氏
 - 〃東ロータリークラブ 会長 ヌグ，トーマス，タイ氏
 - 〃北 〃 会長 G, ハリレラ氏
 - 〃西 〃 会長 コーリン，リム氏
 - ホンコン西ロータリークラブ 会長 H, C, アストバリー氏
 - ニューテリトリロータリークラブ会長 コーリン リム氏

と市内3 R, C の会長，幹事，国際奉仕委員長の意見交換，バナー交換
- (3) 東南アジア留学生の少人数づきの例会招待

ロータリー - 財団委員会報告

委員長 高 義 朗

基 本 方 針

1. ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらい。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. ロータリー財団奨学生を推薦する。

計 画

1. 財団に関する情報を会員に伝える。
2. 百万ドル食事の数をもっとふやす。年4回
3. ロータリー財団奨学生をつのる為に大学他の関係カ所へPRする。

業 績

百万ドル食事を2回実施し(7月29日, 9月23日)137ドルを財団へ寄付しました。

尚7月から現在迄の寄付額は総計177ドルで200%クラブより300%クラブになりました。

附 表

昭 和 46 年 度 予 算 書

会 員 名 簿

充 填 。 未 充 填 職 業 分 類 一 覽 表
(別 冊)

昭和46年度収支予算書

1971.7～1972.6

(収入の部)

費目	予算額	摘	要
前年度繰越金	292,667		
年会費	3,724,000	28,000円×65名	28,000円×68名
雑誌代	87,780	660円×65名	660円×68名
入会金	120,000	15,000円×8名	
ロータリー財団寄付金 (入会時)	28,800	3,600円×8名	
ビジター会食費	425,000	500円×450名	500円×400名
雑収入	15,000	預金利息外	
合計	4,693,247		

(支出の部)

費目	予算額	摘	要
事務局 関係	人件費	458,000	事務員給料・夏期年末手当
	退職給与引当金	22,900	
	通信費	80,000	郵便料・電話料
	事務用品費	20,000	事務用品一切
	印刷費	40,000	報告書等印刷代
	厚生福利費	30,000	健康保険料代
	旅費	5,000	諸車代
	図書費	20,000	新聞代・全国会員名簿外
借室料	72,000	6,000円×12ヶ月	
小計	747,900		
委員会 関係	出席奨励	75,000	表彰記念品代
	会員選考	1,000	
	会員増強	1,000	
	職業分類	15,000	職業分類表印刷代
	新睦	170,000	誕生・結婚記念品代・家族会補助外
プログラム	60,000	卓話ゲストお車代	

費 目		予 算 額	摘 要
委 員 会 関 係	ロータリー情報	30,000	月信、ロータリー手帳、文献代外
	広 報	15,000	3RC打合せ会費外
	会 報 雑 誌	158,000	ロータリーの友、週報印刷代
	職 業 奉 仕	30,000	優良従業員の表彰、職場訪問外
	社 会 奉 仕	100,000	ロータリー賞、心身障害児施設への援助外
	青 少 年 奉 仕	180,000	ロータリー賞、ローターアクト、ワンダーフ ェーゲルへの援助
	国 際 奉 仕	220,000	交換学生受入負担金外
	小 計	1,055,000	
R I 関 係	人 頭 分 担 金	191,520	1,440円×65名 1,440円×68名
	ロータリー財団寄付金	90,000	百万ドル食事差額外
	〃 (入会時)	28,800	3,600円×8名
	米山記念奨学寄付金	66,500	500円×65名 500円×68名
	小 計	376,820	
地 区 関 係	地 区 大 会	105,000	分担金
	地 区 協 議 会	100,000	登録料、旅費、宿泊費
	地 区 資 金	99,750	750円×65名 750円×68名
	地区青少年 資金	39,900	300円×65名 300円×68名
	札幌 聖火台協力金	6,500	100円×65名
	小 計	351,150	
そ の 他	拡 大 事 業 費	30,000	
	会 議 費	75,000	会長幹事会登録料、地区大会登録料補助
	会 食 費	1,660,000	例会食事代
	雑 費	80,000	前会長幹事記念品代、見舞金その他
	備 品 費	25,000	
	地 区 大 会 準 備 資 金 繰 入	200,000	上期100,000円 下期100,000円
基金特別負担金	50,000	上期 25,000円 下期 25,000円	
	小 計	2,120,000	
	予 備 費	42,377	
	合 計	4,693,247	

特別基金勘定

(収 入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	1 1 5,0 0 0	
基金特別負担金	4 0,0 0 0	5,0 0 0 円×8名
一般会計より繰入	5 0,0 0 0	上期25,0 0 0 円 下期25,0 0 0 円
雑 収 入	8,0 0 0	預金利息外
合 計	2 1 3,0 0 0	

ニコニコ寄付金勘定

(収 入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	2 0 5,2 1 8	
寄付金収入	1 3 0,0 0 0	
雑 収 入	1 0,0 0 0	預金利息
合 計	3 4 5,2 1 8	

特別準備金勘定

(収 入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	2 1,5 0 0	
退職給与引当金	2 2,9 0 0	上期11,5 0 0 下期11,4 0 0
雑 収 入	2,0 0 0	預金利息
小 計	4 6,4 0 0	
前年度繰越金	2 0 0,0 0 0	
地区大会準備資金	2 0 0,0 0 0	上期100,000 下期100,000
雑 収 入	1 5,0 0 0	預金利息
小 計	4 1 5,0 0 0	
合 計	4 6 1,4 0 0	

会 員 名 簿

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	勤務先場所	自宅場所
A	安楽慶一郎	焼酎製造	安楽酒造(株)	代表取締役	宇宿町248-1 県庁ビル内	高麗町615
	有蘭敷男	相互銀行	(株)旭相互銀行	常務取締役	山下町1-1	田上町 2624-2
F	福田敏之	民間放送	(株)南日本放送	常務取締役	高麗町5-25	草牟田町 4195
	藤安辰造	味噌製造	藤安醸造(株)	取締役社長	住吉町6-15	住吉町6-20
H	林幸光	シニアクラブ (洋楽)	鹿児島短期大学	教授	永吉町450	西田町58-6
	浜田馨	清酒配布	(有)浜田酒店	取締役社長	高麗町30-14	同左
	春山ジャستن	キリスト教	日本基督教団 鹿地区	宣教師	荒田1-21-21	同左
	外西寿彦	産婦人科医	鹿児島市立病院	産科 婦人長	加治屋町 20-17	宇宿町 1153-10
	原田隆造	生命保険	日本生命保険 相互会社鹿支社	支社長	中央町11-5	上荒田町 2070-10
	平田武雄	商業銀行	鹿児島銀行 武町支店	支店長	中央町11-1	原良町1789
	原三郎	瓦斯供給	日本瓦斯(株)	常務取締役	武町501	坂元町 2277-49
I	岩元健吉	シニアクラブ (製棉)	カクイ(株)	取締役会長	郡元町927	郡元町1172
	岩元正二	衣料配布	山形屋商事(株)	専務取締役	堀江町1-1	高麗町143
	岩元基	綿製品配布	カクイ社 鹿基準寝具(株)	常務取締役	宇宿町 2505-1	新屋敷町1-7 公団住宅606号
	岩田太一	和菓子製造	(有)明石屋菓子店	取締役社長	金生町4-16	西千石町2-13
	池田広	放射線科医	池田放射線 診療所	医師	上之園町18	同左
	池田稔	パン製造	池田製菓(株)	専務取締役	上之園町 19-27	同左
	池口恵観	仏教	最福寺	開教師	紫原 2-35-13	同左
K	河井時義	外科医	河井外科	院長	高麗町 29-17	同左
	川村洋	百貨店	(株)山形屋	常務取締役	金生町3-1	下荒田町 2247
	川路清高	医学教育	鹿児島大学 医学部	医学部長	城山町7-82	新照院町154
	川上鉄太郎	旅館	城山観光(株)	常務取締役	新照院町95	原良町1315
	久保政次	ゴム 製品配布	(株)久保利商店	取締役社長	名山町1-4	大竜町4-16
	久保田彦穂	シニアクラブ (文芸)	鹿児島女子 短期大学	教授	郡元町 1333	長田町146
	小山幸義	ホテル	(株)鹿児島 ホテル鶴鳴館	取締役社長	城山町5-30	同左
	小池鉄太郎	洋画	鹿児島大学 教養部	教授	上荒田町 1946	薬師町398
	小園正人	硝子配布	(株)小園硝子 商会	取締役社長	上荒田町 696	吉野町9752
	古木圭介	観光事業	南日本ツーリスト	常務取締役	東千石町 13-18	清水町31-4
風間悌次	外国為替 銀行	三井銀行 鹿児島支店	支店長	金生町5-9	薬師町32	

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	勤務先場所	自宅場所	
K	川田 恵一	土地開発	川田不動産 鑑定事務所	所 長	加治屋町1-4	同 左	
	木治屋 克己	コンクリート 工事	五十鈴建設 ㈱	常 務	長田町1-16	吉野町 2914-50	
M	牧田 健二	内科医	牧田 医院	院 長	上本町2-5	同 左	
	光吉 正昭	請負業	小牧建設 ㈱	常務取締役	西千石町 2-35	鳴池町471	
	森川 盛満	自動車運転 教 育	㈱ 玉里自動車 練習所	常務取締役	下伊敷町 292-7	原良町1450	
	三角 桂次郎	精油配布	三角石油瓦斯 ㈱	専務取締役	名山町11	原良町1797	
N	中村 善治	セメント 配 布	㈱ 神田商店	専務取締役	住吉町1-3	薬師町1374	
	中山 和春	鉄道車輛 修 理	国鉄鹿児島工場	工 場 長	上荒田町800	郡元町24 唐湊国鉄宿舎	
	鍋島 宏	建築設計	竜栄建設 ㈱	常務取締役	錦江町3-20	下伊敷町 978-7	
	中村 俊雄	自動車配布	トヨタカラー 鹿児島 ㈱	社 長	郡元町2410	武町157	
O	岡元 健一郎	大学病院	鹿児島大学 付属病院	院 長	城山町8-3	城山町 7-13	
	岡山 栄	会計士	岡山公認会計士 事務所	所 長	薬師町53	同 左	
S	西郷 隆永	電気器具 配 布	南九州コンバーター 一 普及 ㈱	取締役社長	上之園町 19-27	鳴池町 709-30	
	桜美 四郎	シニアアクチフ (瓦斯供給)	桜ビルディング ㈱	取締役社長	中央町20-4	上之園町 18-26	
	桜美 義明	雑貨配布	桜物産 ㈱	常務取締役	中央町20-4	荒田1-39-6 野村綱武方	
	鮫島 志芽太	ハストサービス (新聞発行)				上荒田町62	
	佐伯 延次郎	シニアアクチフ (短期大学)	鹿児島県立 短期大学	学 長	下伊敷町104	清水町 11-19	
	柴山 一雄	歯科医	柴山歯科医院	院 長	山下町9-31	同 左	
	島津 忠丸	建 木 業	島津土木 工業 ㈱	常務取締役	吉野町磯 9688	清水町 31-15	
	新福 栄熊	シニアアクチフ (自然科学)	鹿児島経済大学	教 授	上福元町 8850	玉里町3465	
	下野 隆三	通 運	㈱ 共進組	常務取締役	易居町 11-19	原良町3135	
	瀬上 一郎	地方金融	福岡銀行鹿支店	支 店 長	千日町1-2	郡元町544	
	新福 均	文房具配布	㈱ しんぶく 文具店	代表取締役	上之園町 9-8	武町544	
	坂口 洋右	書籍配布	㈱ 金海堂	社 長	東千石町 17-1	西田町 82-8	
	T	高井 敏治	砂糖配布	㈱ 高井商店	専務取締役	泉町13-20	加治屋町 5-21
		高田 光義	機械配布	南国殖産 ㈱	常務取締役	中央町11-5内 南国日本生命ビル	天保山町 88-3
高 義明		絹製品製造	大島紬染糸 工業 ㈱	取 締 役 副 社 長	鳴池町999	同 左	
田平 礼章		整形外科医	田平整形 外科病院	副 院 長	加治屋町 16-5	加治屋町 11-17	
竹之内 安己		短期大学	鹿児島 短期大学	教 授	永吉町450	稲荷町 15-25	
土橋 英夫		シニアアクチフ (産婦人科)	土橋病院	院 長	西田町 1-16-1	西田町 1-16-2	

	会員氏名	職業分類	勤務先	役職名	勤務先場所	自宅場所
T	土谷久雄	単科大学	鹿児島経済大学	学長	下福元町 8850	郡元町1673
	塘一郎	工業教育	鹿児島大学 工学部	教授	鳴池町52	伊敷町1-2 伊敷栄門住宅2号
	徳田基	シニアクラブ (公証人)	鹿児島 公証人役場	公証人	山下町 17-12	照国町11-23
	徳沢紀生	道路建設	徳沢建設(株)	社長	上之郷町13-3 徳沢ビル601号	上之郷町13-3 徳沢ビル602号
W	若松新一	澱粉製造	鹿児島物産 加工(株)	総務部長	守宿町185	郡元町1389
	渡辺匡	タクシー業	(株)南州	代表取締役	武町428	上竜尾町40-3
	若松宇治彦	高等学校	鹿児島高等学校	校長	築師町383	常盤町268
Y	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長	加治屋町 20-17	吉野町9688
	山口清次	短期金融	富士銀行鹿支店	支店長	金生町7-25	天保山町106
	山本友博	私立学校	鹿児島経済大学	教授	下福元町 8850	吉野町2631

